



「小中連携」についてみんなで考えました！

10月30日、阿倍野市民学習センターにて、南部支部が学習会を行いました。「小中連携ってどのようにすすめていますか？」と題し、小中連携のあり方について参加者全員で考えました。

実践例として大池小分会（小中一貫校大池学園）の韓文亨さんより、大池学園での小中連携について話をいただきました。大池学園の小中連絡会では、年度のはじめに集まって、児童・生徒のようすの交流や年間の取り組みの計画などを丁寧に話合っているそうです。



クラブ体験や授業参観の際には、児童が中学校の雰囲気や体験できるような、教員間の連携が密に行われています。また、小学校の児童と中学校の教員が顔を合わせる機会が多いため、児童の情報の引継ぎがスムーズに行えるとのこと。特に中3生が小学校低学年の児童と交流することで、普段とは異なる人間関係を築き、思いやりや責任感を育む貴重な機会となっているそうです。さらに、小中連携や保幼小連携にも力を入れており、子どもたちの成長を一貫して支える体制づくりの重要性が語られました。

質疑応答では、参加者から「小中連携をどのように進めていけばよいか」「不登校の児童生徒への支援における連携のあり方」など、さまざまな視点から活発な意見交換が行われました。「初めはたいへんかもしれないけど、子どもたちにとって異校種間の連携がとても大切なことがわかった」「まずは小中教職員が知り合うことが大事」「自分の学校でもどのような活動ができるか考えていきたい」といった感想が寄せられました。

特報 NEXT！～若手教職員の交流サークルが発足～

NEXT！とは、20代・30代の若手教職員の集まりです。仲間づくり&楽しい時間を共有！

学校のこと、生活や趣味のことなどを気軽に話せる青年サークルです。

現在、公式LINEでイベント情報を発信中！（運営からの受信のみです）

興味のある方は右記QRコードよりLINE登録をしてください。

12/7（日）10時～「ブラック・ジャック展に行こう！」を企画しています。



「動物園から見つめる平和」FW

北部支部学習会

@天王寺動物園



11月22日、北部支部は天王寺動物園でFW学習会「動物園から見つめる平和」を開催し、組合員とその家族約20人が参加しました。秋の陽射しの中、動物たちとのふれあいを通じて戦争と平和について考える時間を過ごしました。

園内では神吉支部長がガイド役を務め、天王寺動物園の歴史を解説しながら歩をすすめました。

チンパンジーの「リタとロイド」のエピソードで、戦中は戦意高揚のために軍服や着物を着せられてプロパガンダに利用されたことに、子どもたちは「無理やり服を着せられてかわいそうや…」と目の前のチンパンジーと過去の出来事を重ね合わせて考えていました。動物たちを眺めていると改めて命のかけがえのなさ、そして平和の大切さを実感しました。今回の学びを学校園での平和教育の実践につなげていきます。



事務職員部「スポーツフェスティバル～えびす大祭」



11月15日、事務職員部は組織の強化・拡大に向けた取り組みとして「スポーツフェスティバル～えびす大祭～」をなにわ区民ホールで開催しました。スポーツフェスティバル実行委員会による企画・運営を行い、今年はゲームの半分以上が新しくなっただけでなく、かつて大運動会として実施してきた地区対抗形式を一部競技で復活させました。また、各地区チームとは別に当日限定の秘密チームも急造させるなど、普段できないメンバーとの関係プレーで大いに白熱しました。他にも恒例となりつつある「ポッチャ」など様々なゲームを通じて、約80人の組合員とその家族が身体を動かしながら楽しく交流を深めることができました。その後、場所を移して行った交流会では60人以上が参加し、昼食をとりながら仕事やプライベートの話などで盛り上がりました。

事務職員部では、組合員同士の交流や情報共有ができる場をつくり、今後も学習会や各地区行事を開催する予定です。多くのおみなさまのご参加をお待ちしています。

「10・21国際反戦デー」の源流を辿りながら



10月21日、中之島公園で「10・21国際反戦デー」の集会が開催され、市教組から支部の代表や退職者会の方々が参加しました。国際反戦デーは、1966年10月21日に日本労働組合総評議会（総評）が、アメリカのベトナム戦争介入に反対して「ベトナム反戦統一ストライキ」を実施したことが始まりと言われています。このストは、国内外の反戦運動団体にも呼びかけられ、世界中の労働組合から連帯のメッセージが寄せられ、フランスの哲学者サルトルも「世界の労働組合で初めてのベトナム反戦スト」と称賛しました。その想いは世界中に広がり、現在も営々と反戦・平和を訴える市民集会として受け継がれています。

市民集会として受け継がれています。

集会当日はかなり気温も冷え込みましたが、熱気は上昇。参加者は中之島公園から、反戦平和の願いを込めて西梅田までデモ行進を貫徹。大阪市の街行く人々に平和を訴えました。

長期化するロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ地区への攻撃など、この間も世界では戦争や紛争が続いています。国内においても高市新政権が日米同盟と国内軍備のさらなる強化を謳い、さらには国会での台湾有事に関する答弁で日中関係が急速に冷え込むなど、予断を許さない状況が進行しています。今こそ「教え子を再び戦場に送らない」の日教組スローガンを確認したいものです。

教えの魂に祈りをこめて 第90回「教育祭」

10月26日、大阪城公園内の教育塔にて、第90回教育祭が開催されました。前日から降り続いた雨も式典が始まるとぴたりと止み、穏やかな気候の下、式典を執り行うことができました。

今年は教職員2人、教育関係者3人、特別合葬者2人が新たに合葬されました。大阪市からは現職で亡くなられた西島小分会の増田新さんが合葬されました。主催者として日教組の梶原中央執行委員長の追悼の詞に続き、文部科学省や大阪市、日政連議員等からそれぞれ「追悼のことば」が述べられました。

その後、参列者は順番に案内され、教育塔内に祀られた霊名札にむけ花束をささげました。大阪の教育に携わられた方々が祀られている場所で諸先輩のお名前を見つけると、感慨深く厳粛な気持ちとなりました。



第425回中央委員会開催～秋は交流の季節～

11月20日、大阪市教育会館東館で第425回中央委員会を開催しました。はじめに三谷委員長より「市労連交渉の結果、賃金引き上げとなったが、物価高騰により実質賃金向上には届かず、更なる引き上げが課題である。政治面では比例区削減や防衛費増額、武器輸出拡大などが懸念される。国会論戦への注視と、現場からの声を反映した取り組みを継続していきたい」との挨拶がありました。



続いて、中松書記長より経過報告と当面の闘争推進に関する件の提案があり、討論には5人が参加して、それぞれの取り組みについて報告がありました。採決では執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認されました。

宮尾中央委員（玉造小分会） 事務職員部は11月7日に市教委との交渉を行い、人事異動の基準や、共同学校事務室の現状と今後の展望等について市教委の見解をいただきました。交渉では、自己申告書を通じて個別事情を詳細に把握し適切な人事異動に努めること等を確認しました。11月28日には「私たちの給与について」の学習会を開催して、共に学びながら、働く仲間の輪を広げていきます。

戸田中央委員（平野西小分会） 女性部は12月6日にカムバックセミナーを開催予定です。育休復帰者の不安に寄り添い、勤務条件や権利・働き方についての説明や先輩の体験談を共有します。個別相談も多く、管理職への伝え方なども話題になっています。毎年参加者からは好評で、子育てをしながら安心して働き続けられるよう、広く参加を呼びかけています。

高嶋中央委員（桑津小分会） 南部支部青年部では、小中連携の学習会、特別専科教諭や新規採用者の現状や悩みを交流する学習会など、集いの場をつくってきました。さらに仲間を増やすために、他支部の仲間と結成した市教組NEXT！で公式LINEをつくって発信をしています。12月7日には「ブラック・ジャック展に行こう！」を企画しています。ぜひ分会の皆さんも青年部の活動を紹介してください。

松本中央委員（南津守小） 11月15日、天下茶屋小で第26回南大阪こども民族音楽会が開催され、多様な演目が披露されました。子どもたちが自らのルーツを見つめる貴重な機会となり、教職員や外国人教育関係者の思いも深まりました。今後は未設置校への支援や制度保障に向け、教職員や市民団体と連携し、すべての子どもたちに豊かな出会いを届ける取り組みをすすめていきます。

山本中央委員（美津島中分会） 11月15日に栄養教職員部が難波蓬莱本館にて親睦交流会を開催しました。豚まんやシューマイ作りを行いながら、いろいろな話をして、お互いの家族も含め交流を深めることができました。楽しかったとか、また来たいとか、本当に良かったという声を皆さんからいただいております。こうして交流を深めていく中で、どんどんと栄養教育職員部の輪が広がり、加入促進につながればよいなと思っております。